

第12回議会報告会結果報告（西部会場）

日 時	平成30年12月1日(土)午後5時30分から午後7時30分まで
場 所	よませふれあいセンター
参加人数	住民参加者 54人 議員 11人 事務局 1人
地元協力団体	西部協議会・西部公民館
議員役割分担表	<p>総括責任者 小淵茂昭 司会進行 小淵茂昭 常任委員会報告者 総務産業常任委員会 徳竹栄子 社会文教常任委員会 湯本晴彦 広報常任委員会 望月貞明 議会運営委員会 湯本晴彦 記録者 渡辺正男 出席議員 湯本晴彦・望月貞明・布施谷裕泉・徳竹栄子・山本良一・渡辺正男 児玉信治・小淵茂昭・小林克彦・高田佳久・西 宗亮</p>
次第(担当者)	<p>1. 開 会 司会者 小淵茂昭 2. あいさつ (1)主催者 議長 西 宗亮 (2)共催者代表 西部協議会長 柳沢正義 3. 報告事項 (1)議会常任委員会等報告 ①総務産業常任委員会 徳竹栄子 ②社会文教常任委員会 湯本晴彦 ③広報常任委員会 望月貞明 ④議会運営委員会 湯本晴彦 (2)質 疑 4. 懇談事項 意見交換会 5. 閉 会 西部公民館長 渡辺清次</p>
議会に取り組んでほしいこと結果(シールアンケート)	<p>①観光商工振興策 2名 ②農林水産業振興策 14名 ③子育て・教育施策 5名 ④高齢者・障がい者・健康福祉施策 13名 ⑤都市基盤・生活環境の整備(上下水道・道路・側溝など) 12名 ⑥行財政運営・行政サービスの向上(税・窓口など) 4名</p>
報告事項の質疑	<p>質問 有線放送廃止の説明会が12月中旬から各地区で行われるということだが、戸別受信機にメールは入らないのか。また、説明会に出席できなかった人には役場で窓口を設けてくれるのか。</p> <p>回答 役場から全戸配布された資料に詳細がある。メールがそのまま入るのではなく、朝6時半から1日分を流す。それは文字で入る。音声でも入る。入ったものはいつでも見られる。説明会に出られなくて、分からないことがある場合は役場に問い合わせてもらるのが一番早い。戸別受信機は現在800台ほどの注文があり、100台ほどが余っている状態。公民館や避難所には町が配る。今議会で100台追加の補正予算が提案されている。今後、戸別受信機がほしいという方がもっと出てきそうなので、早めに問い合わせしてほしい。全戸配布資料以上の情報</p>

<p>報告事項の質疑</p>	<p>は出てこない。</p> <p>質問 楽ちんバスは大成功だったのか、失敗だったのか。</p> <p>回答 失敗ではない。利用者の数から言えば成功。行政の持ち出しがあり、民間がやっても利益が出る状況ではないので大成功とは言えないが、有料になっても利用者数を維持している点では成功と言える。</p> <p>質問 今後、何十年も続けられるのか。</p> <p>回答 少なくとも十年後は大丈夫だと思う。バスの方は、500万円の寄附があり、1台増車で今後2台体制になる。2台で走るのではない。1か月に1万キロ以上も走るの大変だと思っていたところに、町民の方が寄附していただいて1台購入ということになった。</p> <p>質問 健康ポイント制には疑問がある。どんな目的でやっているのか。</p> <p>回答 病気の予防、健康になっていただくためと、検（健）診を受診しやすくして、受診率を向上させるためであるが、その効果は、まだ始めたばかりなので検証はこれから。国民健康保険の保険者努力支援制度では、受診率向上が指標になっていることも目的のひとつ。</p>
<p>意見交換会での 質問と回答</p>	<p>質問 午後5時からの防災無線の音楽を、「美しの志賀高原」も入れて定期的に変えたら、との意見があったが。</p> <p>回答 町に伝える。</p> <p>質問 宇木にも楽ちんバスを通してもらいたい。</p> <p>回答 地元議員も常々主張している。金倉なども駅から遠く、要望がある。医療機関への路線要望も強い。路線については今後も十分検討していきたい。</p> <p>質問 給食センターの大型改修工事の内容は。</p> <p>回答 床のドライ化、トイレ改修などで衛生基準の高い方式に改善したことで、大型な改修工事となった。</p> <p>質問 この町をどうしていくのかの観点が見えなかった。人口は来年にも1万2000人を割ろうとしている。自慢できる町、夢のある町にしていくために、農業はどうしていくのか、観光はどうしていくのか、どういう観点で考えているか。</p> <p>回答 人口問題は、子育て・教育の支援など町も取り組んでいるが、目に見えた効果は上がっていない。産業分野でも、やらなければならないことはある。いろんなジャンルで総合的に考えなくてはいけない大事な課題。行政も議会も一緒になって対応していかなければならない。</p> <p>質問 楽ちんバスの路線変更は、区として要望できるものか。</p>

意見交換会での
質問と回答

回答 できる。議員でも区長会でも通して要望伝えていただければ、検討会議で検討することになる。区から直接でも大丈夫。

質問 楽ちんバスの藤ノ木霊園入口バス停はどういったものか。

回答 現状は、極端に利用者が少ない状況だ。議会として承っておく。

質問 先日、熊の目撃情報があったが、通学路でもあり、人的被害が心配される。対応策は。

回答 湯田中でもその情報があって電気柵の撤去を遅らせた。猟友会に依頼してオリを仕掛けたりパトロールもしていただいたりしている。
万全な対応をとの意見があったことは町に伝えたい。

質問 本郷区の火事とき、消防のセンターに問い合わせてもつながらなかったし、消防署からの命令が一切なかったのが団員が集まっていなかった。災害のときだからこそ防災訓練を活用することを徹底してほしい。

回答 由々しき事態だ。どうしてそうなってしまったのか、防災無線も活用されなかったことなども含めて一般質問で取り上げ、確認したい。

後日回答

早朝時の署員の手薄な時間帯での火災発生で、非番の署員も出動した状況であり、残った署員1名で消防団への通報・有線放送の対応ができなかった。防災無線は試用期間であるため行わなかったが、結果として利用すべきであった。(12月議会一般質問での町側からの答弁)

質問 戸別受信機は各消防詰所に設置されるのか。

回答 配置される。

質問 将来を見据えた消防団組織ということで、若い団員の負担が減るような組織になってほしいと思うが、どうか。

回答 操法大会出場を2年に1回にして、機能別団員を増やして定員を減らすなど負担軽減している。大災害時にはマンパワーが必要であり、消防団はなくせない。部の統合という話も出ているが、各部には歴史や伝統があり、簡単ではない。消防防災委員会や議会を通じて団員確保、負担軽減を提言していきたい。

質問 一般の人が半鐘を叩いてもいいか。自主防災組織がすぐに動けるようにするためにはどうすればいいか。

回答 湯田中では団員経験者が叩くことがある。緊急時はいいと思う。自主防災組織については消防団がリードして動いてもらうのがいいと思う。

質問 有線や防災無線では「本郷で」とか「横倉で」と言ってもらえば、自主防災組織がすぐに動けるのでは。

意見交換会での
質問と回答

回答 たしかに、「夜間瀬で」とか「平穏で」とかでは分からない。岳南消防本部ではなかなか細分化するのは難しいと言っているが、改善を求めたい。

質問 今回の火災では、家には有線がなく、防災無線も活用されなかったため、情報が入らなかった。消防団の指示で自主防災組織が動いた。消防署にもしっかりとした対応をお願いしたい。

回答 擦り半が鳴ることが一番動きやすい。今回それがなかったということは大問題である。重大な検証材料としたい。有線は加入率が50%を割っており、万能ではない。防災無線には、個別にサイレンを鳴らす機能もある。各地区にその活用方法について徹底するように町に呼びかけていきたい。

質問 「SUGU メール」の登録方法は、

回答 基本的には個人で登録してもらおう。携帯電話でホームページにアクセスし、指示に従って操作していただくことになる。不明な点は役場に問い合わせたい。

質問 メール機能のない携帯電話やパソコンはどうか。

後日回答

メール機能のない携帯電話やパソコンからは登録できないが、インターネットに接続されているパソコンは可能である。